

活動名	団体名 長門市中央公民館事業企画運営委員会「わくわく土曜塾」担当
わくわく土曜塾	地域 山口県長門市
	代表者 運営委員長 林 義高
	支援金額 10万円
活動概要	
<p>地域市民の英知と善意を結集して「私たちの公民館づくり」を推進する「長門市中央公民館事業企画運営委員会(民間組織)」の事業の1つとして開催してきた。</p> <p>目的は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①土曜日の子どもの安全・安心の確保 ②子どもたちの規範意識の醸成 ③学校教育活動の補完の場 ④親の子育て支援などである。 <p>平成20年度は年間67講座を開催した。この講座の指導者の中心は、本公民館に集う社会教育関係団体(グループ)であり、公民館で学んだ生涯学習を子どもたちのために生かす活動としてボランティアで実施してきた。(講座によっては外部指導者も加わった)</p> <p>◆実施時期：2008年4月12日(開講式)～2009年3月14日(閉講式) 長門市中央公民館を中心に公園、地域の河川・史跡、水族館などを活用</p> <p>◆参加人数：コーディネーター延べ169名、講座指導者延べ167名 受講生(塾生)(多様な体験 A1,080名、英語 B 126名、囲碁 B 176名) 延べ1,382名 参加総人員 1,718名</p>	



《墨絵を楽しみ》



《水辺の教室》



《流し絵トマト》



《手芸》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・講座を受け持つ指導する側が逆に教えられたり、元気をもらったりで、こんな楽しいことならまたやってみたいと言う人が多くおられた。これらの方々は今後一層ボランティア活動へと向かうことが予想される。
- ・講座の内容は各担当団体に任せたことが、「どうすれば子どもたちに効果的に指導できるか」などを考えざるを得ないこととなった。このことは自主活動をさらに発展させると思われる。
- ・保護者のアンケート結果などから目的はクリアできていると思っている。指導するグループからも「子どもたちから逆にエネルギーをもらって大変うれしい」と好評であり、この方向からも効果があったと思っている。
- ・この「わくわく土曜塾」の実施の理念や手法は、他県の公民館の研修視察で講話したりすることになった。

◆苦労した点

- ・年間67講座という大量な講座を設定した。次回の講座をスムーズに行う為、場所が変更になった時などの諸連絡を振り返りプリントでメモをさせたりお知らせで配布したが、行き届かない家庭もあったので、12月からはファックスと葉書で知らせた。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・今後は、ここ1・2年は「わくわく土曜塾」を公民館で実施して行くが、それ以降はこれらの講座を、月曜日から金曜日の「放課後子どもプラン」として学校でできないかを模索していくことになる。

◆活動を終えての感想・意見等

価値ある取組みとして充実感がある。2年間支援していただき貴財団に感謝している。